

デーリー東北
2023年(令和5年)10月27日(金曜日) (2)

地域のIT人材育成へ

米国際見本市に学生派遣

4年ぶり、県南事業者企画

青森県南地方のIT事業者が企画し、米国ラスベガスで開催される世界最大級の家電IT見本市「CES」に青森県内の学生を派遣するプロジェクトが来年1月、4年ぶりに再開する。現地で触れた世界の最先端を地元へ還元し、将来的には地

域の課題解決を担う人材を育てるのが狙い。企画を資金面で支援するサポーター企業を募っており、企画者は「地元企業が少しずつ資金を負担し合い、地元への思いがある若者を支援できれば」と話している。

(出川しのぶ)

資金支援企業を募集

企画したのは、IT企業「ヘアタゴン」(三沢市)の立花拓也代表(39)と「アイティワーク」(八戸市)の岡本信也取締役(45)。2019、20年も学生を2人ずつ派遣していたが、その後は新型コロナウイルスで中断していた。

今回、渡米するのは、レポートや面接を経て選ばれた八戸工大工学部システム情報工学科4年の瓜田壮一郎さん(22)と中泊町出身の

報システム工学コース1年の新田彩奈さん(21)と洋野町出身の瓜田さん。瓜田さんは人工知能(AI)を使った言語処理、新田さんは中学生向けのプログラミング教材の開発を学んでいる。

2人の旅費や見本市参加料は計70万円、全額負担

o@icowork.co.jp



CESに向けて打ち合わせする(左から)瓜田壮一郎さん、新田彩奈さん、岡本信也取締役、立花拓也代表=24日、八戸市

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。